



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年8月7日

上場取引所 東

上場会社名 住友金属鉱山株式会社

コード番号 5713 URL <http://www.smm.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中里 佳明

問合せ先責任者 (役職名) 広報IR部担当部長 (氏名) 宮本 邦彦 TEL 03-3436-7705

四半期報告書提出予定日 平成25年8月13日 配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	210,503	2.9	20,220	△1.2	31,501	49.5	23,271	36.9
25年3月期第1四半期	204,635	△3.9	20,456	△27.3	21,065	△44.1	17,004	△36.0

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 68,209百万円 (94.1%) 25年3月期第1四半期 35,142百万円 (△3.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	42.14	37.58
25年3月期第1四半期	30.26	27.83

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	1,416,719	903,266	57.8
25年3月期	1,351,153	844,547	56.9

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 819,402百万円 25年3月期 769,250百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	-	14.00	-	20.00	34.00
26年3月期	-	-	-	-	-
26年3月期(予想)	-	17.00	-	17.00	34.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	398,000	△0.1	31,000	△22.0	47,000	19.9	36,000	32.4	65.19
通期	872,000	7.8	81,000	△15.4	106,000	△7.9	74,000	△14.6	134.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料P3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

26年3月期1Q	581,628,031株	25年3月期	581,628,031株
26年3月期1Q	29,424,012株	25年3月期	29,410,627株
26年3月期1Q	552,208,308株	25年3月期1Q	561,952,050株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

平成25年5月10日に公表いたしました平成26年3月期第2四半期連結業績予想について、本資料において修正しております。本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（決算補足説明資料の入手について）

決算補足説明資料は、平成25年8月7日（水）に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
4. 補足情報	11
(1) 海外相場・為替	11
(2) 主な製品別売上数量・単価・売上高（当社）	11
(3) 製品別生産量（当社）	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の世界経済は、欧州での景気低迷が長期化しており、主要な新興国においても成長が鈍化しましたが、米国の回復基調などもありプラス成長を維持しました。国内経済は、円安による輸出環境の改善と堅調な個人消費などから着実な改善がみられました。

非鉄金属業界におきましては、非鉄金属価格は中国の需要低迷により当第1四半期連結累計期間を通して下落しました。エレクトロニクス関連業界におきましては、薄型テレビなどの需要は低調に推移しましたが、高機能携帯端末など一部においては好調な状況となりました。

このような状況のなか、当第1四半期連結累計期間の売上高は、円安などにより前年同期間に比べ58億68百万円増加し、2,105億3百万円となりました。営業利益は、金属価格の下落などにより、前年同期間に比べ2億36百万円減少し、202億20百万円となりました。経常利益は、持分法による投資利益の好転及び為替差損益の好転などにより前年同期間に比べ104億36百万円増加し、315億1百万円となりました。四半期純利益は、前年同期間に比べ62億67百万円増加し、232億71百万円となりました。

セグメントごとの状況は次のとおりであります。

なお、当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの利益又は損失の測定方法を変更しており、以下の前年同期間との比較については、前年同期間の数値を変更後の報告セグメントに組替えた数値で比較しております。報告セグメントの算定方法の変更の詳細につきましてはP10「3. 報告セグメントの変更等に関する事項」をご覧ください。

① 資源セグメント

菱刈鉱山は順調な生産を継続しております。ポゴ金鉱山は前年同期間並みの産金量となりました。モレンシー銅鉱山の生産量は前年同期間を上回りましたが、販売量は前年同期間並みとなりました。しかしながら銅価格の下落及び一部の海外銅鉱山での減産等により、セグメント利益は前年同期間を下回りました。

売上高は、前年同期間に比べ34億27百万円増加し318億16百万円となりましたが、セグメント利益は、前年同期間に比べ6億63百万円減少し、191億83百万円となりました。

② 製錬セグメント

ニッケル及び銅については、前年同期間に比べ販売量は減少し、価格は前年同期間を下回りました。円安及び持分法による投資利益の好転などにより、セグメント利益は、前年同期間を上回りましたが、金属価格の下落により円安の効果は薄まりました。

売上高は、前年同期間に比べ63億円減少し1,630億29百万円となりましたが、セグメント利益は、前年同期間に比べ47億11百万円増加し、58億74百万円となりました。

③ 材料セグメント

ボンディングワイヤー事業からの撤退により、前年同期間に比べ売上高は大幅に減少しました。しかしながら、主に電池材料がハイブリッドカー向けなどの需要が好調であったこと、並びにリードフレームがLED向けなどの需要が好調であったことなどによりそれぞれ増収となったことから、セグメント損益は前年同期間を上回りました。

売上高は、前年同期間に比べ113億58百万円減少し352億60百万円となりましたが、セグメント損益は、前年同期間に比べ23億47百万円好転し、19億53百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、タガニートプロジェクトに関する建設仮勘定の増加や、投資有価証券の増加などにより、前連結会計年度末に比べ656億円増加し、1兆4,167億円となりました。

一方、負債合計は、未払法人税及び住民税の減少などがありましたが、タガニートプロジェクトのための借入金増加などにより、前連結会計年度末に比べ68億円増加し、5,135億円となりました。

また、純資産合計は、前連結会計年度末に比べ587億円増加し9,033億円となり、自己資本比率は57.8%（前連結会計年度末は56.9%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

世界経済は、年間を通してプラス成長を維持するなか、欧州では景気低迷が長期化しており、中国をはじめとする新興国も成長鈍化が鮮明となっております。米国においては景気回復が継続しておりますが、緊縮財政により回復の速度は緩やかなものとなることが見込まれます。また、米国の金融緩和の縮小懸念が新興国の景気をさらに下押しす

る可能性もあり、先行きは不透明なものとなっております。国内経済においては、大規模な金融緩和によりデフレ脱却の兆しが見えており、円安による輸出環境の改善と堅調な個人消費により改善の兆しにより鮮明なものとなりつつありますが、海外景気の下振れが国内の回復を下押しする懸念が残ります。

非鉄金属業界におきましては、金属価格は中国をはじめとする新興国の需要減退等による下降局面にありましたが、当面は小幅な値動きに留まる状況で推移するものと見込まれます。

このような状況のなか、第2四半期連結累計期間の連結業績につきましては、前回予想（平成25年5月10日公表）に比べ、営業利益、経常利益及び当期純利益が2～23%減少する見通しであります。

第2四半期連結累計期間及び通期の報告セグメントごとの売上高及びセグメント利益の予想数値は以下のとおりであります。（参考：セグメント利益は（四半期）連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。）

なお、配当予想については、据え置くこととしております。

26年3月期第2四半期連結累計期間 連結業績予想（修正後）

（単位：百万円）

	資源	製錬	材料	報告 セグメント 計	その他	調整額	計
売上高	59,000	299,000	74,000	432,000	8,000	△42,000	398,000
セグメント利益	33,000	7,000	4,000	44,000	1,000	2,000	47,000

ご参考：26年3月期通期 連結業績予想（前回予想通り）

（単位：百万円）

	資源	製錬	材料	報告 セグメント 計	その他	調整額	計
売上高	116,000	671,000	159,000	946,000	19,000	△93,000	872,000
セグメント利益	65,000	37,000	6,000	108,000	1,000	△3,000	106,000

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

連結子会社は、税金費用について、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	82,791	91,490
受取手形及び売掛金	92,127	80,487
有価証券	158,000	144,400
商品及び製品	62,469	65,720
仕掛品	40,299	40,452
原材料及び貯蔵品	40,194	36,781
その他	74,624	67,884
貸倒引当金	△252	△287
流動資産合計	550,252	526,927
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	88,663	91,968
機械装置及び運搬具(純額)	90,837	92,549
工具、器具及び備品(純額)	4,375	4,193
土地	26,459	26,616
建設仮勘定	131,733	150,842
有形固定資産合計	342,067	366,168
無形固定資産		
鉱業権	7,013	7,276
その他	3,368	3,410
無形固定資産合計	10,381	10,686
投資その他の資産		
投資有価証券	396,223	447,584
その他	52,446	65,569
貸倒引当金	△210	△209
投資損失引当金	△6	△6
投資その他の資産合計	448,453	512,938
固定資産合計	800,901	889,792
資産合計	1,351,153	1,416,719

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	35,212	37,188
短期借入金	67,750	72,913
未払法人税等	20,279	3,899
賞与引当金	3,546	1,779
休炉工事引当金	758	885
事業再編損失引当金	8	9
環境対策引当金	66	11
その他の引当金	346	158
その他	83,421	76,969
流動負債合計	211,386	193,811
固定負債		
社債	50,000	50,000
長期借入金	212,323	232,278
退職給付引当金	5,701	5,633
役員退職慰労引当金	27	23
事業再編損失引当金	37	—
環境対策引当金	52	46
その他の引当金	238	244
資産除去債務	5,337	5,818
その他	21,505	25,600
固定負債合計	295,220	319,642
負債合計	506,606	513,453
純資産の部		
株主資本		
資本金	93,242	93,242
資本剰余金	86,062	86,062
利益剰余金	644,642	658,485
自己株式	△31,895	△31,914
株主資本合計	792,051	805,875
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	24,645	31,773
繰延ヘッジ損益	△1,856	△1,192
為替換算調整勘定	△45,590	△17,054
その他の包括利益累計額合計	△22,801	13,527
少数株主持分	75,297	83,864
純資産合計	844,547	903,266
負債純資産合計	1,351,153	1,416,719

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	204,635	210,503
売上原価	173,145	178,712
売上総利益	31,490	31,791
販売費及び一般管理費		
販売輸送費及び諸経費	1,987	1,882
給料及び手当	2,544	2,744
賞与引当金繰入額	232	249
退職給付費用	189	154
役員退職慰労引当金繰入額	—	1
研究開発費	1,414	1,700
その他	4,668	4,841
販売費及び一般管理費合計	11,034	11,571
営業利益	20,456	20,220
営業外収益		
受取利息	264	727
受取配当金	714	923
デリバティブ評価益	—	918
為替差益	—	3,264
持分法による投資利益	3,455	6,556
その他	304	199
営業外収益合計	4,737	12,587
営業外費用		
支払利息	853	728
デリバティブ評価損	273	—
為替差損	2,475	—
その他	527	578
営業外費用合計	4,128	1,306
経常利益	21,065	31,501
特別利益		
固定資産売却益	2	99
投資有価証券売却益	152	—
特別利益合計	154	99
特別損失		
固定資産売却損	—	7
固定資産除却損	130	242
投資有価証券評価損	22	—
災害損失	4	1
特別損失合計	156	250

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
税金等調整前四半期純利益	21,063	31,350
法人税、住民税及び事業税	2,956	5,341
法人税等調整額	627	1,112
法人税等合計	3,583	6,453
少数株主損益調整前四半期純利益	17,480	24,897
少数株主利益	476	1,626
四半期純利益	17,004	23,271

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	17,480	24,897
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,483	7,119
繰延ヘッジ損益	108	720
為替換算調整勘定	8,658	16,409
持分法適用会社に対する持分相当額	12,379	19,064
その他の包括利益合計	17,662	43,312
四半期包括利益	35,142	68,209
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	30,579	59,599
少数株主に係る四半期包括利益	4,563	8,610

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

(単位:百万円)

	資源	製錬	材料	報告 セグメント 計	その他	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高							
外部顧客への売上高	16,980	145,263	41,853	204,096	539	—	204,635
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	11,409	24,066	4,765	40,240	2,149	△42,389	—
計	28,389	169,329	46,618	244,336	2,688	△42,389	204,635
セグメント利益又は損 失(△)	19,846	1,163	△394	20,615	253	197	21,065

当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

(単位:百万円)

	資源	製錬	材料	報告 セグメント 計	その他	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高							
外部顧客への売上高	19,210	158,532	31,753	209,495	1,008	—	210,503
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	12,606	4,497	3,507	20,610	3,382	△23,992	—
計	31,816	163,029	35,260	230,105	4,390	△23,992	210,503
セグメント利益	19,183	5,874	1,953	27,010	512	3,979	31,501

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は以下のとおりであります。

(単位:百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間
各報告セグメントに配賦しない本社費用 ※1	4	△578
各報告セグメントで負担する社内借入金利息 ※2	256	146
報告セグメント間取引消去	2,113	785
各報告セグメントに配賦しない営業外損益 ※3	△2,176	3,626
計	197	3,979

- ※1 各報告セグメントに配賦しない本社費用は、主に報告セグメントに帰属しない費用と一般管理費相当額を各セグメントへ配賦したことによる差額等であります。
- ※2 社内借入金利息とは、社内管理上、各セグメント利益を算出するに際し、財務上金利負担を行っていない親会社の各セグメントに対して、それぞれの管理上の貸借対照表において算定した社内借入金に見合う金利負担額として算出したものであります。
社内借入金利息の算出は、親会社の各セグメントが有する社内借入金に「社内金利率」を乗じております。
「社内金利」は実勢の金利状況を考慮して設定しております。
なお、各セグメントで計上した社内借入金利息の合計額は、同額を「調整額」でマイナス計上しており、全社合計では相殺されるため四半期連結財務諸表上の影響はありません。
- ※3 各報告セグメントに配賦しない営業外損益は、報告セグメントに帰属しない為替差損益及び支払利息等であります。
2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 各セグメントに属する製品及びサービスの種類

セグメント	主要製品・サービス
資源	国内及び海外における非鉄金属資源の探査、開発、生産及び生産物の販売
製錬	銅、ニッケル、フェロニッケル、亜鉛の製錬、販売及び金、銀、白金等の貴金属の製錬、販売等
材料	機能性材料であるペースト、粉体材料（ニッケル粉等）、電池材料（水酸化ニッケル等）、結晶材料等の製造、加工及び販売 半導体材料であるリードフレーム、テープ材料（2層めっき基板、COF基板）等の製造、加工及び販売 自動車排ガス処理触媒、化学触媒、石油精製用脱硫触媒、軽量気泡コンクリート等の製造及び販売
その他	エンジニアリング事業、不動産事業等

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

（事業セグメントの利益又は損失の測定方法の変更）

当第1四半期連結会計期間から、各セグメントの業績をよりの確に管理することを目的に、共通の一般管理費相当額等を一定の配賦率を用いて各報告セグメントへ配賦することに変更しております。

また、従来各報告セグメントでは、保有資産に社内金利を乗じた「資本コスト」を負担しておりましたが、業績をよりの確に管理することを目的に、各セグメントにおける貸借対照表上で設定された社内借入金に対して金利相当を負担することに変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の利益又は損失の測定方法により作成しており、「1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報」に記載しております。

4. 補足情報

(1) 海外相場・為替

	単位	当第1四半期 (実績)	平成25年度 (予想)
		自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日	自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日
銅	\$/t	7,146	7,000
金	\$/TOZ	1,414.5	1,450.0
ニッケル	\$/lb	6.78	7.00
亜鉛	\$/t	1,840	1,900
為替 (TTM)	円/\$	98.76	98.00

(2) 主な製品別売上数量・単価・売上高 (当社)

報告セグメント	製品	単位	当第1四半期 (実績)
			自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日
資源	金銀鉱 (金量)	t	38,630
		千円/DMT	195
		百万円	7,520
		(kg)	(1,876)
製錬	銅	t	106,361
		千円/t	716
		百万円	76,172
	金	kg	6,824
		円/g	4,474
		百万円	30,533
	銀	kg	47,587
		千円/kg	75
		百万円	3,586
	ニッケル	t	14,660
		千円/t	1,592
		百万円	23,334
亜鉛 (受託亜鉛含)	t	7,996	
	千円/t	190	
	百万円	1,520	
	(t)	(20,746)	
材料	半導体材料 機能性材料	百万円	16,337

(注) 1. 当社は、主要製品の受注生産比率が少なく、主として見込生産によっております。

2. ニッケルには、フェロニッケルを含めて表示しております。

(3) 製品別生産量 (当社)

製品	単位	当第1四半期	
		自 平成25年4月1日	至 平成25年6月30日
銅	t	102,568	
金	kg	5,323	
電気ニッケル	t	10,243	
フェロニッケル	t	4,676	
亜鉛	t	12,750	
金銀鉱	t	38,812	
(金量)	(kg)	(1,715)	
亜鉛(委託分)	t	7,471	

- (注) 1. 生産量には、受委託分を含めて表示しております。
 2. 亜鉛の委託分は、外数として表示しております。